



令和7年2月25日

(中部地方整備局、第四管区海上保安本部、
中部運輸局同時発表)



「航路啓開と緊急支援物資輸送訓練」を実施！
～ 日本一の貿易港「名古屋港」で南海トラフを想定し連携を強化する ～

南海トラフ地震等の大規模・広域災害に対して、伊勢湾内の広域連携により緊急物資輸送や港湾物流機能の早期回復及び防災能力強化、防災意識の高揚並びに各機関との連携強化を図るため、緊急確保航路※及び港湾内の啓開訓練、緊急支援物資輸送訓練を実施します。

※緊急確保航路とは、港湾法第55条の3の5の規定に基づき、非常災害が発生した場合において、港湾区域、開発保全航路及び河川区域以外の水域における船舶の交通を緊急に確保するために必要があるものとして政令でその区域を定めた航路。

1. 日 時：令和7年3月3日（月）13時30分～15時10分
2. 会 場：名古屋港ガーデンふ頭前面海域
名古屋港水族館南側緑地前面海域及びガーデンふ頭浮体式防災基地
(別紙1「訓練概要」をご参照ください。)
3. 訓練内容：航路啓開（航路障害物除去、深浅測量）、緊急支援物資輸送
4. 参加機関：中部地方整備局、第四管区海上保安本部、中部運輸局、名古屋港管理組合
一般社団法人日本埋立浚渫協会中部支部、中部港湾空港建設協会連合会、
一般社団法人日本海上起重技術協会中部支部、全国浚渫業協会東海支部、
一般社団法人日本潜水協会、一般社団法人海洋調査協会
一般社団法人港湾空港技術コンサルタンツ協会
5. 取材：取材を希望される場合は別紙2「取材申込書」にて回答先（中部地方整備局港湾空港部）まで申し込み下さい。

(申込期日：令和7年2月27日（木）17時)

名古屋港管理組合の港務艇「ぽーとおぶなごや2」に乗船し訓練の様子を取材いただくことが可能です。※人数に限りがございます。

なお、当日の天候によっては急遽中止となる可能性がございますので、その場合は中部地方整備局より取材の申し込みを頂いた方宛に、当日12時30分までにご連絡させていただきます。

【訓練に関するお問合せ先】
名古屋港管理組合 総務部危機管理課
担当 桐山、堀尾
TEL 052-654-7813

訓練概要

(1) 訓練想定

地震規模 M9

震度5弱～7の強い揺れが東海全域で発生、愛知県域では、震度7から震度6弱の地震が発生して津波が到達、発災から3日経過後も港内には航路障害物が多数浮流し、津波堆積物による水深の変化も予測され一般船舶は乗揚げ及び絡網等の発生が懸念され、航行できない状況となった。

(2) 訓練項目、実施時間及び参加艇

ア 航路啓開訓練（航路障害物）（13時45分～14時05分）

【参加船艇】巡視艇ひだかぜ

緊急物資輸送ルートに航路障害物が多数発生した想定にて参加船艇により、航路障害物の除去作業を実施する。

イ 航路啓開訓練（深淺測量）（14時05分～14時35分）

【参加船艇】測量船いせしお、翔龍、日徳

緊急物資輸送ルートの水深が津波堆積物により、発災前と大きく変化したと想定して、参加船艇により海底の測量を実施する。

ウ 緊急支援物資輸送訓練（14時40分～15時00分）

【参加船艇】ぽーとおぶなごや2、第三明竜

緊急物資輸送ルートが設定されたと想定して、緊急支援物資を浮体式防災基地に搬送を実施する。

(3) タイムスケジュール

- 13時30分 「ぽーとおぶなごや2」乗船出港
- 13時45分 航路啓開訓練（航路障害物）
- 14時05分 同上終了
航路啓開訓練（深淺測量）
- 14時35分 同上終了
- 14時40分 緊急支援物資輸送訓練
- 15時00分 同上終了
- 訓練講評
- 15時10分 訓練終了



取材申込書

回答先

E-Mail : pa.cbr-kowanbousai01@mlit.go.jp

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課 外山・吉見 宛

令和 7 年 3 月 3 日（月）実施の訓練への取材を希望します。

プレス機関名

お名前（代表者名）

計（ 名）

ご連絡先（TEL）

ご使用機材等

（テレビカメラ等）

※取材申込書については、申込期限までに回答先までメールでお送りください。

※申込期限：令和 7 年 2 月 27 日（木）17 時 必着

※13 時 15 分までに別紙 1 記載の集合場所へお越しください。